病害虫情報第７号

令和８年１１月２日
岐阜県病害虫防除所

タバココナジラミの発生に注意

岐阜・西濃地域において、トマト施設外に設置した黄色粘着板へのコナジラミ類の累積誘殺数（10／Ⅰ～10／Ⅴ半旬）は 24,639.6 頭で平年の約 4.4 倍と多くなっています（図）。また、施設内に設置した黄色粘着板へのコナジラミ類の誘殺数が平年より多い施設もあります。今後、気温の低下に伴いコナジラミ類のさらなる施設への侵入のおそれがあるため、注意が必要です。

タバココナジラミは、トマト黄化葉巻病、トマト黄化病、キュウリ退緑黄化病のウイルスを媒介します。本年行った、トマト黄化葉巻病の保毒虫率調査では、保毒虫率が高い地点で約 14%の保毒が認められました。これは、2005 年～2007 年にかけて行われた保毒虫率調査の結果に比べ非常に高くなっており（表）、施設内に保毒虫が侵入する可能性は極めて高くなっています。

出入口や天窓への防虫ネット（0.4mm 目合）展張を行うとともに、防虫ネットの隙間や破損がないか確認し、必要に応じて補修を行ってください。施設内での増殖を防ぐため、発生を確認したら防除を実施してください。なお、トマト黄化葉巻病等の発病株（写真）を確認した場合は除去し、適切に処分してください。

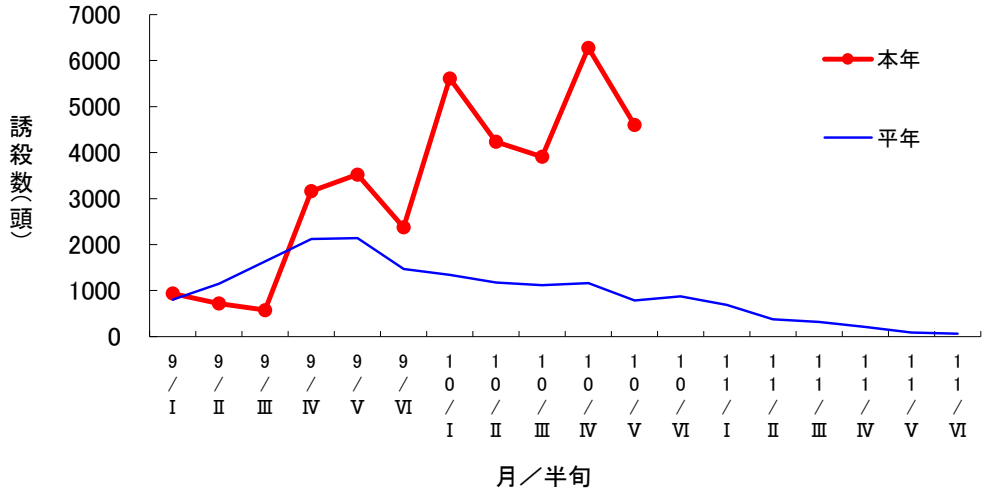


図　施設外の黄色粘着板におけるコナジラミ類誘殺数の推移（海津市日原）

表　野外で採集したタバココナジラミ成虫の TYLCV 保毒虫率（%）

年次	地点A	地点B	地点C		地点D	
	7月上旬採取	7月上旬採取	8月上旬採取	9月中旬採取	8月上旬採取	9月中旬採取
2005年	−	−	2.1(96)	1.0(96)	0(96)	0(96)
2006年	−	−	1.0(96)	1.0(96)	0(96)	0(96)
2007年	−	−	0(28)	−	0(24)	−
2026年	**14.3(42)**	**2.1(48)**	−	−	−	−

※採取地点は地点 A～D いずれも岐阜県海津市内。地点 A、B の採取日は 2026 年 7 月 1 日。

（　）内は検定に供した個体数を示す。

2005～2007 年は、施設周囲外側に設置したポインセチア苗に寄生しているコナジラミ類を吸虫管にて採取し、PCR 法にて TYLCV の有無を確認した。

2026 年は、施設周囲の雑草地で、寄生しているコナジラミ類を吸虫管にて採取し、市販の検定キット（LAMP 法）にて TYLCV の有無を確認した。

引用文献

杖田浩二（2008）　抑制作型におけるトマト黄化葉巻病の発生予察の可能性について
関西病虫研報（50）：99-101（2008）



写真　トマト黄化葉巻病発病株

・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム（https://pesticide.maff.go.jp/）

・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますので
ご活用下さい。 岐阜県病害虫防除所 （https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/）